

令和7年度 第1回 一関中学校・南小学校学校運営支援協議会

令和7年7月10日(木)

10:55~12:00

於：一関中学校 校長室

●授業参観（9:55~10:45）

学 級	教 科	学 級	教 科
1年A組	家 庭	3年A組	社 会
1年B組	国 語	3年B組	理 科
2年A組	体 育	しらかば	生 活
2年B組	英 語	いちい	生 活

●協議会（10:55~12:00）

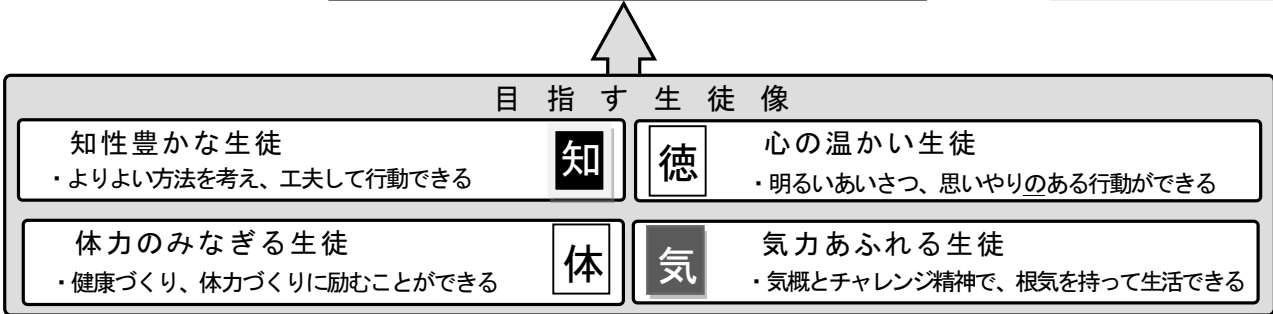
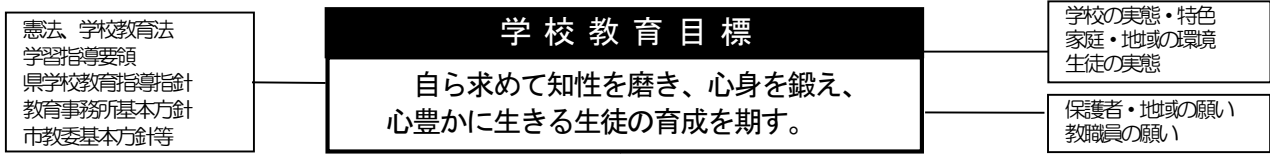
< 次 第 >

- 1 開 会
- 2 会場校校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議 事
 - (1) 一関中学校 学校経営の重点等について
 - (2) 南小学校 学校経営の重点等について
 - (3) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

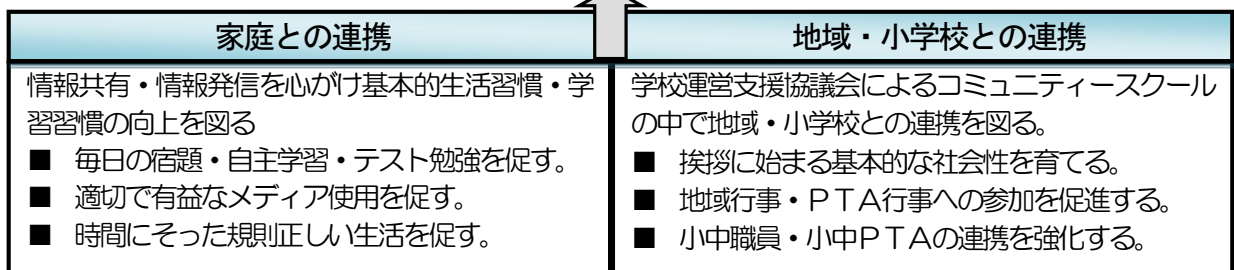
令和7年度 一関中学校・南小学校 学校運営支援協議会 委員

南小学校関連		一関中学校関連	
地域住民 学識経験者	藤 村 実千代 (元南小校長・人権擁護委員)	地域住民 学識経験者	松 尾 芳 弘 (元一関中学校校長)
保護者	藤 田 昭 洋 (南小学校PTA会長)	保護者	平 岡 昭 紀 (一関中学校PTA会長)
地域住民 学識経験者	若 山 義 典 (元一関5民区長)	関係行政機関 職員	小野寺 徹 (真柴市民センター長)
学識経験者	千 田 智 明 (一関幼稚園園長)	地域住民 学識経験者	沼 倉 恵 子 (元一関市総合計画審議会委員)
関係行政機関 担当者	千 葉 美佳子 (地域コーディネーター)		
対象校 校長	佐々木 伸 也 (南小学校校長)	対象校 校長	小 岩 孝 朗 (一関中学校校長)
対象校 副校長	岩清水 裕 行 (南小学校副校長)	対象校 副校長	菅 野 剛 英 (一関中学校副校長)

令和7年度 一関中学校 経営の重点



学校経営の重点	主な施策 (■:特に重点)	関係組織
(1) 安全・安心な学校づくり 「いじめ防止の徹底、思いやり宣言の浸透」	■ 関中安全宣言、安全バッジ、関中安全・安心の日、等を通じた意識の高揚、学級経営を基盤とした活動の展開 □ いじめ防止基本方針・思いやり宣言に基づく安心な学校づくり □ ヒヤリマップによる交通安全と通学路の安全確認 □ 交通安全教室の充実、関中坂等での登下校指導	・指導部 ・学年 ・学級
(2) 学力の向上 「研究テーマを核にした授業改善とそれを下支える学習習慣の定着」	■ 研究テーマ「主体的に学び続ける生徒の育成～ICTの効果的な活用場面を意識した単元(題材)づくりを通して～」を核として □ 単元づくりにおけるICTの位置付けと実践的活用 □ 宿題と自主学習の組み合わせによる家庭学習の実施 □ 定期テストに向けた計画的な学習の指導 □ 各種調査結果の分析と効果的な活用	・研究部 ・教務部 ・学級
(3) 学校適応指導の充実 「行事・諸活動の活性化、特別支援・教育相談の充実」	■ カウンセリングマインドを基盤とした生徒理解・学級経営(QUの活用等) □ 行事・諸活動の活性化による集団づくりと居場所づくり □ 特別支援、教育相談のスキルアップと組織的対応 □ 定期的な連絡会議と適切なケース会議等の設定と対応 □ 関係機関との連携強化と家庭への啓発	・保健、教育相談 ・コーディネーター ・指導部 ・学級、学年
(4) キャリア教育の推進 「系統立てた活動の充実から適切な進学指導へ」	■ 1年「フィールドワーク」、2年「5日間の社会体験」 3年「修学旅行でのキャリアリサーチ」等系統的体験学習の実施 □ 地域での挨拶、地域行事への参加促進 □ 職業人や地域の方から学ぶキャリア学習講座 □ 本人の将来の展望と特性を踏まえた適切な進学指導	・教務部 ・指導部 ・学年 ・学級
(5) 復興教育の推進 「命を考える活動」〈いきる〉 「ボランティア意識の高揚」 〈かかわる〉 「防災意識の高揚」〈そなえる〉	■ 命の大切さ、心身の健康意識の醸成 ・道徳教育の充実 ・副読本の活用 ・各学年の健康講座 □ キャリア教育の地域貢献(ボランティア&募金活動) □ 自然災害・感染症の理解、非常時に生き抜く技能の習得 ・防災教育、救急救命講習の実施 ・ゲリラ豪雨及びひばり等への対応	・総務部 ・教務部 ・指導部 ・学年 ・学級



令和7年度 一関中学校「まなびフェスト(学校・生徒・保護者の合言葉)」

学校教育目標
自ら求めて知性を磨き、心身を鍛え、心豊かに生きる生徒の育成を期す

目指す生徒像

知 知性豊かな生徒
より良い方法を考え、工夫して行動できる。

徳 心の温かい生徒
明るいあいさつ、思いやりのある行動ができる。

体 体力のみなぎる生徒
健康づくり、体力づくりに励むことができる。

気 気力あふれる生徒
気概とチャレンジ精神で、根気をもって生活できる。

あこがれの関中像	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ
	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ
知				○	○							
徳	○	○	○			○	○		○	○	○	○
体			○					○	○			
気				○	○		○	○			○	

関中三大文化 あいさつ 合唱 ボランティア

関中生の基本的な生活行動目標

学習
予習・復習がきちんとできる
わかるところ、わからないところの区別ができる
質問・発表ができる
授業に集中できる
協力して学習できる

生活
生活時間が守れる
あいさつができる
友達を大切にできる
節度ある生活ができる
交通規則が守れる
係の仕事ができる
自分の言動を反省できる

保健衛生
自分の体調がわかる
季節に応じた服装がきちんとできる
頭髪を衛生的に維持できる
清掃が手際よくできる

集団行動
集団の話し合いに参加できる
集団行動がすばやくできる
集団内で協力し合える
集団に奉仕することができる
集団規律を体現できる

5項目 学習規律

- ①始業2分前には着席する。(学習道具をそろえて)
- ②正しい姿勢で座って学ぶ。(立腰～腰骨を立てて～)
- ③顔をあげて聴く。(集中して真剣に)
- ④場に応じた声で発表する。(伝わるように)
- ⑤終業後すぐに、次の授業の準備をする。(移動も含めて)

R7まなびフェスト	「関中三大文化」の再興	学校	場の設定と声かけで意欲を引き出し、ともに活動します
		生徒	積極的な声出し・行動を心がけます
		家庭	地域での声かけをお願いします
	指標: 肯定的回答85%以上		
	「学習規律5項目」の徹底	学校	分かる授業で意欲を引き出し、適切な声かけを行います
	生徒	授業の基本を見直して実行します	
	家庭	道具の確認の声かけをお願いします	
指標: 肯定的回答85%以上			
「朝活動825」の充実	学校	8:25からの朝読書、朝会等を充実させます	
	生徒	遅刻せず登校し活動に集中します	
	家庭	8:20登校への促しをお願いします	
指標: 肯定的回答85%以上			
「毎日家庭学習」の定着	学校	宿題・自主学習・テスト勉強の方法を指導し定着を図ります	
	生徒	毎日家庭学習に取り組みます	
	家庭	声かけや確認をお願いします	
指標: 肯定的回答85%以上			
「自ら〇〇」への挑戦	学校	場の設定と声かけでチャレンジを促し、活動を支援します	
	生徒	自ら進んで何かに挑戦します	
	家庭	励ましや支援をお願いします	
指標: 肯定的回答85%以上			



【一関中学校ホームページ】

関中思いやり宣言

私たちは、一人ひとりが勇気と
ところ配りを大切にし、笑顔の
絶えない関中生を目指します。

《**勇気**》 いじめはしない、させない、見逃さない
《**ところ配り**》 常に相手の気持ちを考えた話し方や行動を心がける
《**笑顔**》 笑顔の会話を増やし、誰もが居て楽しいと感じられる雰囲気をつくる

令和7年度 一関市立南小学校 グランドデザイン

学校教育目標

基本目標

たくましく生き、郷土と国際社会の未来を創造できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成をめざす。

具体目標

【あかるく】

明るく

思いやりのある子ども

【かしこく】

進んで学び

よく考える子ども

【たくましく】

強い体で

実行力のある子ども

児童会スローガン

やさしさを言葉で広げる 南の子

多様性と包摂性の学校文化の醸成

目指す児童像

【あかるい子】

- ・ 明るいあいさつや返事、思いやりある言葉遣い
- ・ ルールやマナーについて考え、正しく判断し行動
- ・ 進んで友達とかかわり、よりよい人間関係を築く

【かしこい子】

- ・ 基礎的・基本的な学習内容がわかる、できる
- ・ 自ら考え、判断し、表現する
- ・ 進んで学ぼうとし、仲間と高め合おうとする

【たくましい子】

- ・ 体育や健康安全に関する知識を身に付け、実践
- ・ 健康で安全な生活について考え、正しく判断し実践
- ・ 自ら課題意識を持ち、進んで生活改善、体力向上

目指す学校像

- ㊦ 児童が心身ともに健やかに育つ学校
- ㊦ 基礎・基本を大切にし、確かな学力を育む学校
- ㊦ 生き生きと活気あふれる学校

児童：明日も楽しみな学校
保護者・地域：応援しがいのある学校
教職員：やりがいのある学校

3あ運動+1+1 (PTA)

さんあ運動プラスわんわん

【まなびフェスト】

保護者・地域との共有

目指す教職員像

- ㊦ 人間的な温かさ、児童を認め、ほめ、叱り、励ます
- ㊦ 豊かな教養、「わかる授業」に努める
- ㊦ 共に働き、共に遊び、率先垂範で生き生きと実践

基本方針

【すべては児童のために】

- 1 全職員が【協働】のもとに、チームとしてベクトルをそろえて教育活動を推進する。
- 2 一人一人の学びが保障され、笑顔で学校生活を送ることができるよう【創意(総意)】工夫を図る。
- 3 家庭や地域、関係機関と【連携】し、地域とともにある学校づくりを推進する。

重点

【あかるく】 言葉遣いの改善 …

あいさつ (ありがとう、ごめんなさい)、返事 (日頃の積み重ね)、ふわふわ言葉 (児童会・学級活動との連動)

【かしこく】 学習基盤の徹底 …

学習規律 (学級経営に生かす)、算数・基礎計算 (習熟の時間の確保、ICTの有効活用)、読む力 (音読、読書の習慣)

【たくましく】 生活改善・体力向上 …

時間を意識 (登校、メディア)、清掃の徹底 (勤労や協力の態度)、運動に親しむ (体カづくり、歩いて登校)

【その他】 ① 不断の授業改善 ② いじめの未然防止・早期発見と組織的対応による解決 ③ 特別支援教育の充実 ④ 家庭・地域との連携・協働

R7 南小学校 まなびフェスト

児童、家庭、学校、地域が目標を共有し、具体的な実践を進めます。

学校での取り組み

- ① 進んで挨拶ができる児童を育てます。
★ 達成基準：85%以上
 - ② しっかりとした声で返事ができる児童を育てます。
★ 達成基準：70%以上
 - ③ 思いやりのある言葉遣いができる児童を育てます。
★ 達成基準：85%以上
 - よいこと・悪いことを判断し、行動できる児童を育てます。
★ 達成基準：85%以上
-
- ① 学習規律を徹底し、学級経営に生かします。
★ 達成基準：70%以上
 - ② 全校で「わかる・できる授業」をめざします。
★ 「算数」の授業：よくわかる+わかる：85%以上
★ CRTにおいて、正答率8割以上の児童の割合を上げます。
 - 家庭学習にしっかり取り組む児童を育てます。
★ 目標時間（学年×10分以上）：80%以上
★ 自主学習への取り組み（3年生以上を基本）
 - ③ 読書活動の推進を図ります。
★ 年間目標読書冊数（1年70冊 2年80冊 3・4年50冊 5・6年30冊）：70%以上
-
- ① 基本的な生活習慣の確立を図ります。
★ 朝食摂取率の向上：100%
★ メディア（ゲーム、ネット等）の使い方ルール化し、守ります。
ルール化率：85%以上 実行率：80%以上
 - ② 進んで働く児童を育てます。
★ 達成基準：80%以上
 - ③ 児童の体力・運動能力を向上させます。
★ 歩いて登校する児童：80%以上
★ 教科体育の充実、業間マラソンの取組

学校教育目標 めざす児童の姿

【あかるく】 「明るく思いやりのある子ども」

- ① 進んで挨拶をします。
- ② しっかりとした声で返事をします。
- ③ ふわふわ言葉を大切に、仲よく学校生活を送ります。
・ よいこと・悪いことを考えて行動します。

【かしこく】 「進んで学びよく考える子ども」

- ① 学習規律を守ります。
- ② わかるまで、あきらめずに学習に取り組みます。
○ 毎日、家庭学習に取り組みます。
・ テレビ等を消して目標時間（学年×10分以上）学習します。
・ 自分で考えて工夫し、自主学習にも取り組みます。
- ③ 学校と家庭で音読・読書に取り組みます。
・ 家庭での読書「家読（うちどく）」にも取り組みます。

【たくましく】 「強い体で実行力のある子ども」

- ① 「早ね・早起き・朝ごはん」の生活リズムを守ります。
・ 朝ごはんを必ず食べます。睡眠時間を守ります。
（低：9～10時間 高：8～9時間）
・ メディアルールや登校時間など時間を意識します。
- ② 清掃、係や当番の仕事、家庭での仕事をしっかりやります。
- ③ 運動に親しみ、歩いて登下校します。

家庭や地域での取り組み

- ① 家族同士で挨拶をしたり会話をしたりします。
 - ② しっかりとした声で挨拶や返事をさせます。
 - ③ ふわふわ言葉を大切に、子どもや友だちの良い所を見つけ褒めます。
・ 特に「ありがとう」や「ごめんなさい」を大切にします。
・ よいこと・悪いことがわかるように躰けます。
-
- ① がんばっていることを見つけ、励ましの言葉をかけます。
 - ② 家庭学習をしっかり行うように声かけをします。
・ 宿題の丸つけや音読の評価をしてやります。
 - ③ 家庭での音読・読書を勧めます。
・ 「家読」、「親子読書」に進んで取り組みます。
-
- ① 心身の健康管理を徹底します。
・ 十分な睡眠・朝ご飯をしっかりとらせて登校させます。
・ 登校時間やメディア時間、寝る・起きる時間など、時間を意識させます。
・ メディアの使い方をルール化し、約束を守らせます。
 - ② 家庭での仕事を決め、家族の一員としての自覚と責任を高めます。
 - ③ 歩いて登下校させます。
（自動車で学校前までの送迎はしません。1kmは歩かせます。）



3 あ運動 + 1 + 1

「あいさつ」・「あんぜん」・「あとしまつ」 + 「あるいて登校」 + 「ノーメディア」を実行します。